

第4回 「（仮）学びの大綱（案）」及び「（仮）第5次豊田市教育行政計画（素案）」に関するアンケート

実施期間：7月1日（火）～7月10日（木）

回答者数：178人

【1】 教育に関する施策の大綱と教育行政計画の存在を知っていますか

名称も内容も知っている	2
名称だけは知っている	27
知らない	149

【2】 教育に関するどのような取組に関心がありますか（複数回答可）

学校教育の取組に関心がある	98
生涯学習・社会教育の取組に関心がある	103
家庭教育の取組に関心がある	34
教育全般の取組に関心がある	59
関心がない	9

【3】 学ぶことは楽しいと思いますか

思う	170
思わない	8

【4】 生涯にわたって何かを学び続けたいと思いますか

思う	167
思わない	11

【5】 学ぶことは豊かな人生につながると思いますか

思う	175
思わない	3

【6】 「（仮）学びの大綱（案）」の基本理念に共感できますか

共感できる（⇒Q8へ）	81
どちらかと言えば共感できる（⇒Q8へ）	95
どちらかと言えば共感できない（⇒Q7へ）	1
共感できない（⇒Q7へ）	1

【7】 Q6で共感できないと回答した理由を教えてください

必ずしも学びに“つながり”が必要だとは思わない。

具体的な対応策不明確。

【8】大綱案及び計画素案についてご意見があればご記入ください。

やはり不登校の問題が気になります。

小学生で410人 全体の1.83%

中学生は840人 全体の7.05%

であるがあるが、実態はもう少し多いと推測される。

教育の網からこぼれ落ちてる生徒たちに手を、
差伸べ、救うのも教育である。

常に学ぶ意欲を持ち、自己研鑽していきたいと思っています。しかし、その内容、地理的距離など老人にとって必ずしも合致するものがないので消極的になってしまいます。

全体として適切な内容だと思うが、意味不明な部分が若干あり少し気になる。例えば、「地域資源を活用する人が育っていく好循環を生み出す」、「家庭・学校・地域が一体となって取り組む、地域ぐるみの学びを共働により推進」など。

ここに挙がっている項目が実現出来たら本当に素敵だと思います。

学ぶことは、ひとりでもできますが、つながりの中で学ぶことは、人としても成長できると思いました。

大綱に具体的に含まれていないが、学校の方針、学習目標、評価方針などを見る化すべき。どうしても家庭での学習は必要となると思うが、学校としての学習に対する方針が見えず、どういう方針で家庭学習を行えばよいか見えない。唯一示されるのは定期考査の範囲、結果の点数であるため、それを目標に家庭学習を行うしかない状況。しかし、定期考査でトップの成績をとっても評定は最高点がつかない生徒も多く、かつそのフィードバックもないため何で評価されているのかが分からず、子供が何を努力すれば良いのか分からない。教員の負荷があるのは理解できるが、評価の基準や結果などを開示するべき。

↑豊田市立中学校に対する意見です

大枠での取り組みは分かりますが、学び続けることへの取組としては、学んだことでのうれしさ、適切なフィードバックを考えて頂きたい。

教育、学びと言えば皆が難しく考えるが、中にはゲームや遊びの中に入れたら良いかと思う。

全ては出来ないと思うが年配者が興味を持つかも・・・。

情報量が豊富で、抜けもなく問題ないと思います。

色々と考えてやっていこうというのは理解できる。

このような活動をもっと広く告知していく事が大切だと思った。

具体的な対応策不明確。
小学校でも子供の間で学習レベルに差がついてしまい、自己肯定感が低くなってしまう場合があると聞きます。学習できる機会や場所が増えると、体験の格差の是正にも繋がっていくと思うので、教育の場を増やしてあげたいです。
先生の多忙が社会問題として聞くことがあります。 学校と直接の関係がないので実態はよく分かっていませんが、今回の教育行政計画でも、いじめ対策や充実した教育の実現のため、色々な施策が計画されているなかで、教職員の多忙が課題として上がっています。業務見直し・部活の在り方や業務のDX化など対策を検討されていますが、どれほどの効果が有るのか心配です。一般企業では高齢者の再雇用など進めている。OB（先生のみならず）などの活用を業務・仕事内容に適合させて出来ると良いかと感じます。
DX化については、ヨーロッパでDX化した結果、子供の学力が低下したという結果も出ているため、慎重に進めて欲しい。
教師が足りず高齢の方が無理して続けられているようなので、質・人員についても強化してもらえるとありがたいなと感じました。
こどもの意見を取り入れる課が市役所にできたことは、とてもよいことだと思う。
子供に向き合い寄り添える 誰もが自分らしく学べる とあるが、保育園の時点でこれはこうと決められたら、みんなと一緒に、のことが多く、自分らしくはあまり関係なさそう。具体的にどういう風になっているのか
地域や周りをつながりを持ちながら学べるのは、きっかけや継続につながりいいことだと思います。
生涯にわたって学び続けることは理想ですし、やってみたいです。ただ、年齢が上がるにつれ、気持ちだけでは取り組めない事情も出てくるので、学べる環境へのサポートも考慮してもらいたいです。
理念とビジョンは明確だが、どのように進捗を図るか具体的な評価項目があると、取り組みの効果検証がしやすくなる。 同じような理念を掲げる自治体も多いと考えられるが、豊田市ならではの特性やほかの自治体との違いを表現してほしい。
基本理念の誰もが学び合いながら自分らしくとの文には魅力を感じ取れます。しかし、子どもたちの事が大事なのは理解出来るが誰もがの文章の・・・ 文頭に【そして】との文では付け加え的に感じるのでそしてを排除したほうが一律になるのではないのでしょうか。

現在地域に子供の姿を見なくなりました。子供が少なくなってるうえに地域の行事に参加する子供が激減しています。最近では地域との繋がりは殆んど期待出来ない状況です。子供らの親世代も地域を盛り上げるまで行かなくともせめて協力的であって欲しい。どうやってこの状況を解決出来るのかわかりません。繋がりが大切であることは明白ですがその意識をどこで掘り起こせば良いか?学校の中だけでは学べないことがたくさん有るはず

です。
子どもより、親の意識を変えられるような体制が大切だと思います。

教育や学習という言葉が付くと敷居が高くなって、意識の高い事を自認するような一部の人がしか参加できない。

少し興味があるような人でも気軽に参加できて、自然に知識が深められるような工夫があるとありがたいと思う。

何事もオンラインで十分と考えている人が多いかもしれませんが、現地で人と交流しながらする体験型の方が人間らしさを培う事が出来ると思います。相手との距離感が上手く取れない大人が増えているのは、人間関係の経験不足なのでは?と思う事があります。

現地参加出来るイベントやスポーツを増やして下さると有難いです。

今の学校教育から広く自由に学べる機会、経験は子供たちにとってとても貴重な経験はなると感じています。

好きなことがあり、それをきっかけに自分の世界を広げたり、生きがいにつながることは人生をより豊かにし、社会全体をも豊かにしてくれるように思います。

教育の現場で実際には生徒一人一人に寄り添うのはまだまだ課題がある。教育者に対して不安もあり、子どもの成長や必要な対応は個々で異なるため、そこをどう対応していくかをもう少し現実的に検討してほしい。

小学校では部活動がなくなり、スポーツをやりたい人は自主的に家庭で地域のスクールに通う必要がある。体育の授業以外にもスポーツ、体を動かすことに取り組める活動があればいいなと思う。スポーツができることは学力もあがる話を聞いたので、積極的に体を動かせる機会が増えるといいと思う。

大綱案の詳細は承知していませんが、生涯教育は、人生を豊かに過ごすため必要不可欠と考えています。市民広報での情報発信を期待して、いつも拝読していますが、学ぶ機会の提供が少ない様に思います。直ぐに、大学の先生に講演などを頼みがちですが、豊田近隣の大学では、優秀な先生が少ない、聞いて見たいと思わない。それよりも、トヨタには、全国から優秀な人材を集めて、教育された方が多いので、それらの人材活用を提案します。

世界のトヨタですから。もし現役の方が難しい様であれば、引退されたOBでも良いかと考えます。

いじめ対策の難しさと教師の多忙さが伝わってきた。

豊田市の良さを教育で教えると言うのも大事かもしれませんが、その際にはぜひ、学びが楽しくなる内容にしてほしいと思います。私の世代では試験で人を篩にかけるための教育だったと思います。これからは楽しんで人生で価値あることを楽しんで学べるようにして欲しいです。テレビで見ましたが、桃太郎電鉄のゲームをアレンジした社会の教育なんかはとても良い取り組みだと思います。孔子の言葉で「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」と言うものがありますが、まさにこれだと思います。

学校教育の充実はもちろんですが、いつの年代でも学び直しが容易に出来るよう、社会で挑戦を支えて行くことも大切だと感じました。

小学中学では学級の人数が少ない事できめ細かい指導、サポートが得られたと感じます。一方、担任の先生との相性や力量によって学びの姿勢が大きく変わることも事実と思うので、子どもや保護者の希望も取り入れたり、学年担任のような形でも良いかなとも思いました。全員の希望を叶えることは出来ないと思いますが、少しでも居場所作りや積極的な学びに繋がると良いと思います。熱中症やアレルギー、不審者対応など安全面での注意も以前より増え、学びに集中がしづらい面もあると思います。先生が安心して子どもに学びを教えられる余裕や体制が必要だと思います。

「どのような状態にしたい」かは書かれていますが、それを「どのようにして」実現するかについての施策があいまいな記述になっている気がします。

子ども、若年層への教育は一人一人一人の人格形成に欠かせないものであり、一人一人の幸福獲得のためにも必要です。また、地域社会の未来は子どもや若年層が担うこととなり、彼らの中に未来があります。彼らへの教育は未来への投資であり、手はぬけません。豊田市においてもしっかりとお願いしたいと思います。

生涯、学びの姿勢は、大切だと感じます。人生経験の中で培ったものを若い人に伝えたり、若い人からスマホやネットなどのことを教えてもらったりして、双方で学び合う場があってもいいかと思っています。

添付の資料を見て、改めて不登校の多さ等に気づかされました。

それとともに少しでも早い段階でそういった生徒さんを救い上げてあげられる社会にしないととも感じました。

豊田市にはトヨタ自動車というほかの地域にはない産業基盤があるので教育分野においてもっと有効に活用できると良いなと思います。

多様性を大切にすることは理解できるのですが、その分、標準がわかりにくくなってきています。まあ、そういうこともあるよねと受け入れつつも、個性を大切にしつつも、常識を動かしたくないと思います。よほどおかしいことを見かけても「おかしいんじゃない？」と言にくい教育って何なんだろうと思います。アサーティブコミュニケーションを心掛けられたらいいなと思います。

学歴や年齢などにかかわらずいつ何時でも自由に入学でき、勉強出来る学校の創設をのぞむ

生徒一人一人の個性を尊重した教育を行ってほしい。

学びは子供の時だけでなく、大人になってからの方が楽しいので皆さんにすすめてみたいです。私は50代の今でも資格取得のため勉強していて再就職を目指しています。経産相のリスキリング制度を利用しています。子供の教育費がかかり、自分にあまりお金をかけられませんが、そのような制度を知り挑戦することにしました。学びを通じて知識も人間関係も広がるので、高齢者になっても学ぶ機会を行政が提供してくれるといいと思います。

社会教育のカテゴリーになると思いますが、誰とでも仲良くなろうと心掛けることを教えることにはもちろん賛成ですが、努力してもどうしても仲良くなれない人と最低限の距離感を保って付かず離れずの仲になることを良しとして教えることも並行してやってみてはどうか、と思っています。SNSを利用した陰湿なイジメが学校生活や社会人生活でも普通に見受けられますが、自殺や怨恨殺人のような極端な人間関係の悪化(0点or100点)にならぬように、中庸でも良し(30点?70点)というように、柔軟に現実的に教育できれば実生活でも役に立つのかな、と思います。

老若男女問わずで、考えるのが大事であるならば、子ども園、小学生、中学生の老人ホームへの積極的訪問を考えたらどうでしょうか？ そこでのコミュニケーションが、どちらにも、有意義になるかと思います。
学びは必要と思います。
外国籍の子ども（幼児を含む）に対応する日本語教育、日本文化に馴染めるようなレクチャー（家族も共に）の機会がふえるとよいと思う
「自分を大切にし他者を尊重する」考え方は基本だと思います。でも子供たちはいじめや犯罪に巻き込まれることがあります。その時に周囲の大人がどのように対処するかが大事だと思います。いじめと軽く考えずに傷害事件だったり、性犯罪だったりすることを大人が認識し、子ども達にも教えることが必要だと思います。教師だけの考えではなく弁護士等の意見を聞くべきだと思います。
やらされてる教育から、大人になるにつれ、学びの大切さをヒシヒシと感じてます。 子供たちが、楽しく学べるような環境があるといいと思う。地域のおじいちゃん、おばあちゃんから、我が子は、夏休みに習字やそろばんを、ボランティアで学びました。世代を超えて交流できてよかったです。そういう支援をお願いしたい。 また、経済格差から、学べない子のフォロー、例えば、1人一つだけでも、スイミング、習字、そろばんなど無料、もしくは差額補助で、習い事ができたらいいと思う。また、海外ホームステイなどの補助など、積極的にしてほしいです。
豊田市の学級編成基準は国や県の基準よりも少ない人数になっていて良いと思う。しかし、特に小学校1?3年生について、実際の教室の様子を見ると、先生の休憩時間が全く無く、こども達へのサポートも足りないと感じる。 補助の先生も居るが、4クラスに1人だけで時間も限られており、人数を増やしたり、時間を増やしたりして欲しい。 常に2人体制で1クラスみられたら、先生も休憩時間が取れたり、困った時に相談できたり、こども達へのサポートも厚くなり良いと思う。
人生いつまでも学びは 必要だと思うから
小学校の学級編成について 入学前の説明会では2クラスと言われていたが入学式当日にクラス分けの名簿貼り出しを見て1クラスだった事が判明 当初より1人人数が減って36人から35人になったためと思われるが事前に説明もなかったし本当に30人学級を目安としているのか疑問 だし転校生がきて増えたらどうするつもりなのか説明してほしい 他の学校も35人クラスと聞いたし期待外れ

今の時代にあった子どもたちへ教育環境の提供はもちろんですが、勉強だけでなく地域の人たちと触れ合うことなどによりモラルやマナーといった一般常識を学ぶ機会を増やすことも大切だと思います。昨今、外国人の方も増えていますし、大きな事故や事件も豊田市でも増えていると感じます。大人も今までの常識を今の情報にアップデートする機会があればいいと思います。

子どもも大人も様々な形で学びが出来ると思います。学びと聞くと堅苦しいイメージですが、学校の勉強の学びだけでなく、趣味もスポーツも本も映像も全て学びだと思います。

自身の人生を全うするだけでも、本当に難しい時代になっています。生き抜くために必要な知識・知見等を学びながら、社会と繋がりながら、人生を全うできれば本望です。

教育の質向上のため、デジタルを活用し、教えるのが上手な講師の授業を動画で共有できる仕組みを整えていただきたいです。誰でも自由に好きな講師の授業を視聴でき、使いやすいシステム設計と、講師の工夫や努力が正當に評価される環境の整備をお願いします。また、全ての児童・家庭が公平に活用できるよう、ICT環境やセキュリティ面の配慮も併せてご検討ください。

特に学校教育において学ぶことは努力も必要とすることだと思います。古い考えかもしれませんが、努力には多少の忍耐も必要となり、集団の中で自分と違う考えの人の意見も忍耐強く聞いたり、相手の考えを尊重したりということの土台作りになっていると思います。

大綱案、とてもいいなと思いました。